



学校法人ISI学園 専門学校東京ビジネス外語カレッジ
2023年度 Digital Business Syllabus

1. 本授業科目の基本情報			
科目名(コード)	デジタルマーケティング II (TDB137)	配当学年	1年後期
講義名(コード)	デジタルマーケティング II (TDB137)	単位数	2
対象学科	グローバルビジネス	時間数	30
対象コース	デジタルビジネス	講義期間	秋
専攻		履修区分	必修
授業担当者	居山 由彦	授業形態	講義
成績評価教員	居山 由彦	実務者教員	はい
実務者教員特記欄	本授業は関連業界で職業経験ある講師にて実施される。		

2. 本授業科目の概要	
目的(位置づけ)	ネットを利用した広報や宣伝広告、マーケティングの基礎的知識を身につける。
到達目標	ネットを通じての宣伝広告、広報活動の全般を理解したうえで、ネット広告についての提案を作成できるようになる。
全体の内容及概要	連携企業の協力の元で行われるworkshop中心の授業。IT機器やアプリを利用した実践的トレーニング含む
授業時間外の学修	
履修上の注意事項	
特記事項	

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識(期末試験点) 60%	自己管理力(出席点) 30%	協調性・主体性・表現力(平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	講師	授業内容
1	居山	インターネットのマーケティングへの応用 広報の価値 広告市場の規模とメディア 評価のための課題設
2	日本パブリックリレーションズ協会 福地聖佳	広報・Public Relationsとは? 広報と宣伝
3	日本パブリックリレーションズ協会 福地聖佳	PRプランニングとニュースリリース メディアリレーションズ
4	日本パブリックリレーションズ協会 福地聖佳	ニュースリリースを書いてみる workshop
5	日本パブリックリレーションズ協会 福地聖佳	マーケティングPR Social Media
6	日本パブリックリレーションズ協会 福地聖佳	危機管理の広報 Social Mediaのインパクト
7	日本パブリックリレーションズ協会 福地聖佳	SNSでPRしてみる 課題発表・workshop
8	居山	世界のPublic RelationsとSNS Marketing/Digital Marketing全体像 2021年社会におけるマーケティングの立ち位置
9	イルミナコミュニケーションズ 矢田 代表	商品・サービスを成功させるマーケティング マーチャンダイジング、デジタルマーケティング、集客、店頭
10	イルミナコミュニケーションズ 矢田 代表	「誰に」「何を」「どう伝えるか」workshop ペルソナとCJM(Customer Journey Map)
11	Yappli 島袋孝一 氏	スマホとアプリとマーケティング リードジェネレーション、リードナーチャリング、 リードクオリフィケーション 「集客」手法と戦略立案 カスタマー
12	Yappli 島袋孝一 氏	スマホとアプリとマーケティング様々なケーススタ ディ
13	Yappli (島袋孝一 氏)	「ノーコード」のもたらすInnovation スピード開発、アプリ開発事例
14	居山	まとめ 期末レポート作成
15	居山	まとめとFeed-back

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	Web Marketing 検索優位、HP、 ネット広告の仕組みと集客 1
参考文献・資料等	SEO、リスティング、アフィリエイト、アドネット、SNS ネット広告の仕組みと集客 2
備考	SEO、リスティング、アフィリエイト、アドネット、SNS ネット広告の仕組みと集客 3 実際に作ってみる ターゲット設定 ネット広告の仕組みと集客 4 実際に作ってみる アフィリエイト広告 ネット広告